

# 第76回 福証IRフェア

2017年8月8日

 日創プロニティ株式会社

証券コード : 3440

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

# 会社概要

平成29年5月31日現在

- 商 号 : 日創プロニティ株式会社 (英文表記 : NISSO PRONITY Co., Ltd.)
- 本 社 : 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1-15-29
- 事 業 内 容 : 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
- 営 業 拠 点 : 本社、東京営業所、大阪営業所、福島営業所
- 製 造 拠 点 : 山田工場 (福岡県嘉麻市)、福島工場 (福島県石川郡)
- 関 連 会 社 : 吾孺ゴム工業株式会社 (群馬県)、日創エンジニアリング株式会社 (東京都)  
綾目精機株式会社 (広島県)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
- 設 立 : 昭和58年9月
- 資 本 金 : 1,176百万円
- 市 場 区 分 : 福岡証券取引所 (Q - B o a r d) 証券コード : 3440
- 発行済株式数 : 7,360,000株
- 決 算 日 : 8月31日
- 従 業 員 数 : 202名 (連結)



ISO9001

# 沿革

平成29.04月綾目精機を子会社化（事業領域の拡大へ）

平成28.03月吾孺ゴム工業を子会社化（事業領域の拡大へ）  
 平成28.04月日創エンジニアリング設立

平成26.03月福島工場新設（東日本の製造拠点）  
 平成26.06月福島営業所開設

平成24.07月 FITスタート  
 （再生可能エネルギー固定買取制度）

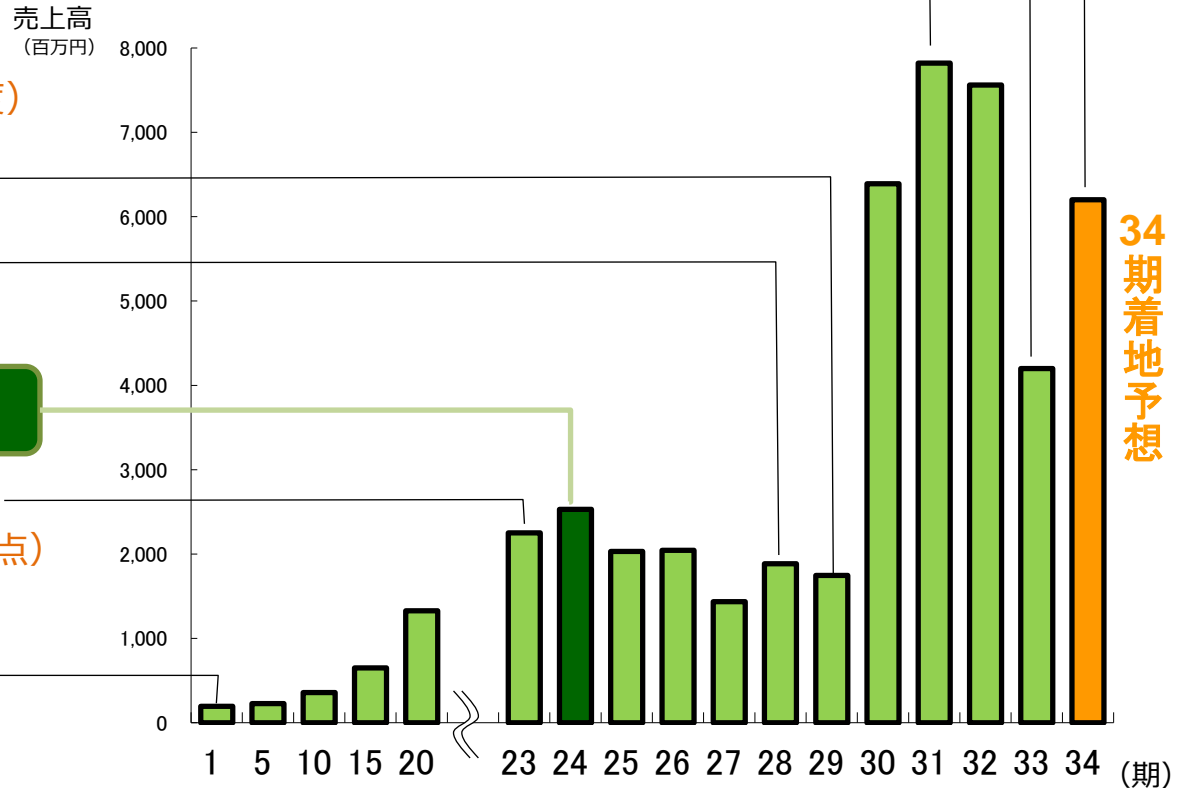
平成23.12月大阪営業所開設

平成23.02月東京営業所開設  
 （全国展開スタート）

平成19.08月 福証Q-Board上場

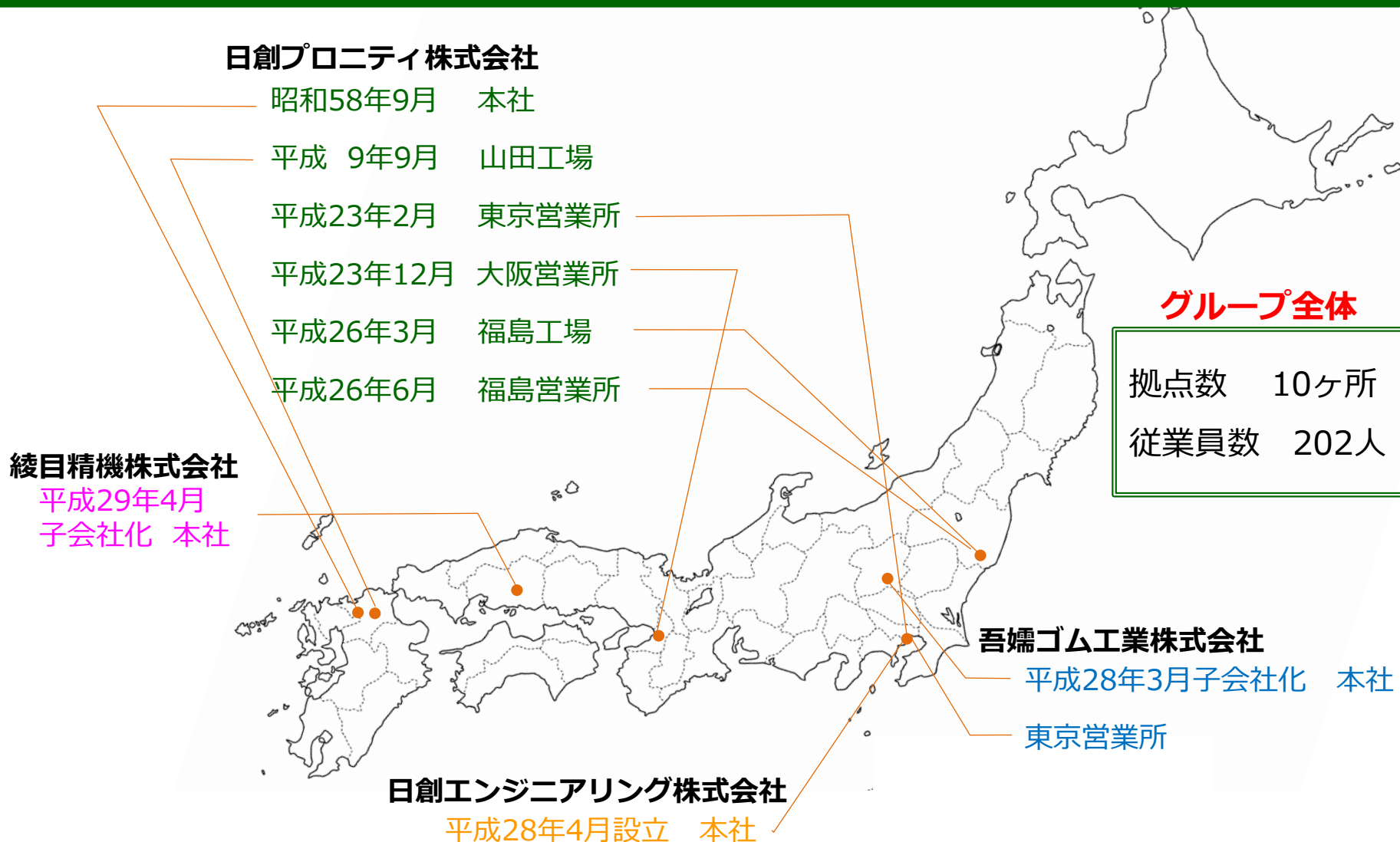
平成19.03月までに山田工場を  
 第5工場まで増設（西日本の製造拠点）

昭和58.09月設立  
 山田工場新設



# 日創プロニティグループの拠点

## 積極的な全国展開



# 社名の由来

**Processing** (プロセッシング) = 加工

**Progress** (プログレス) = 前進

**Infinity** (インフィニティ) = 無限大

「加工」を  
キーワードに



事業の拡大  
を目指す

**PRONITY**

プロニティ

## グループ経営理念

### 日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

創業の精神



「日々創造」  
グループ経営理念



日々の業務  
の現実的な  
指針

あらゆる課題に



チャレンジ

「日々創造」する企業集団

## 「日々創造」

グループ経営理念のもと

### グループミッション

#### 価値の創造

##### (社会貢献)

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

### グループビジョン

#### 加工の総合商社

##### (挑戦)

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。



- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

# 事業セグメント

## 金属加工事業

### 金属加工製品の企画、設計、加工、販売

太陽電池アレイ支持架台、金属パネル等の製作、  
精密切削加工他

## ゴム加工事業

### ゴム製品の企画、設計、加工、販売

住宅、機械、公共インフラ設備等に使用

## 建設事業

### 上記事業に付随する建設事業

太陽電池アレイ支持架台、金属パネルの設置工事

# 金属加工事業

主力事業として、建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

## オーダー加工品 = ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品

「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、不燃断熱パネル等の各種金属パネル。



①太陽光発電搭載型カーポート



②レジストウォール（耐火パネル）



③太陽電池アレイ支持架台

## 企画品 = 一定の規格に基づく 量産可能品

ユーザーに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



④角波（金属壁材）



⑤折板（金属屋根材）

## 山田工場

### 企画品

特徴 = 提案商品として企画した製品

#### 第1工場



プレスによる企画品の生産

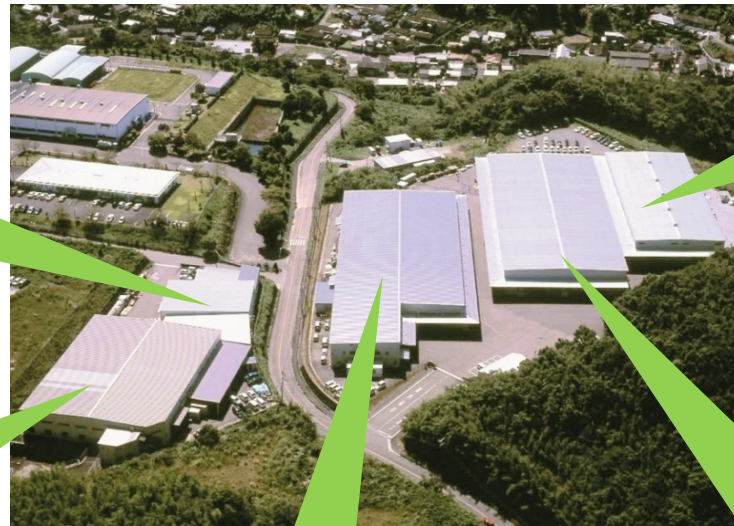
#### 第2工場



ロールフォーミングによる企画品の生産

敷地面積：35,000m<sup>2</sup>

プレス・ロールフォーミング・  
切断・曲げ・切削・組立・溶接



#### 第3工場



切断・パンチング・  
曲げ・パネル加工など  
オーダー加工による  
特注品の生産

### オーダー加工品

特徴 = 多品種なものを  
オーダーにより加工

#### 第5工場



切削・組立・溶接など

#### 第4工場



切断・不燃断熱パネルの生産

## 福島工場

2014年より**東日本のものづくり**を支える

敷地面積：41,418m<sup>2</sup>



### 生産設備

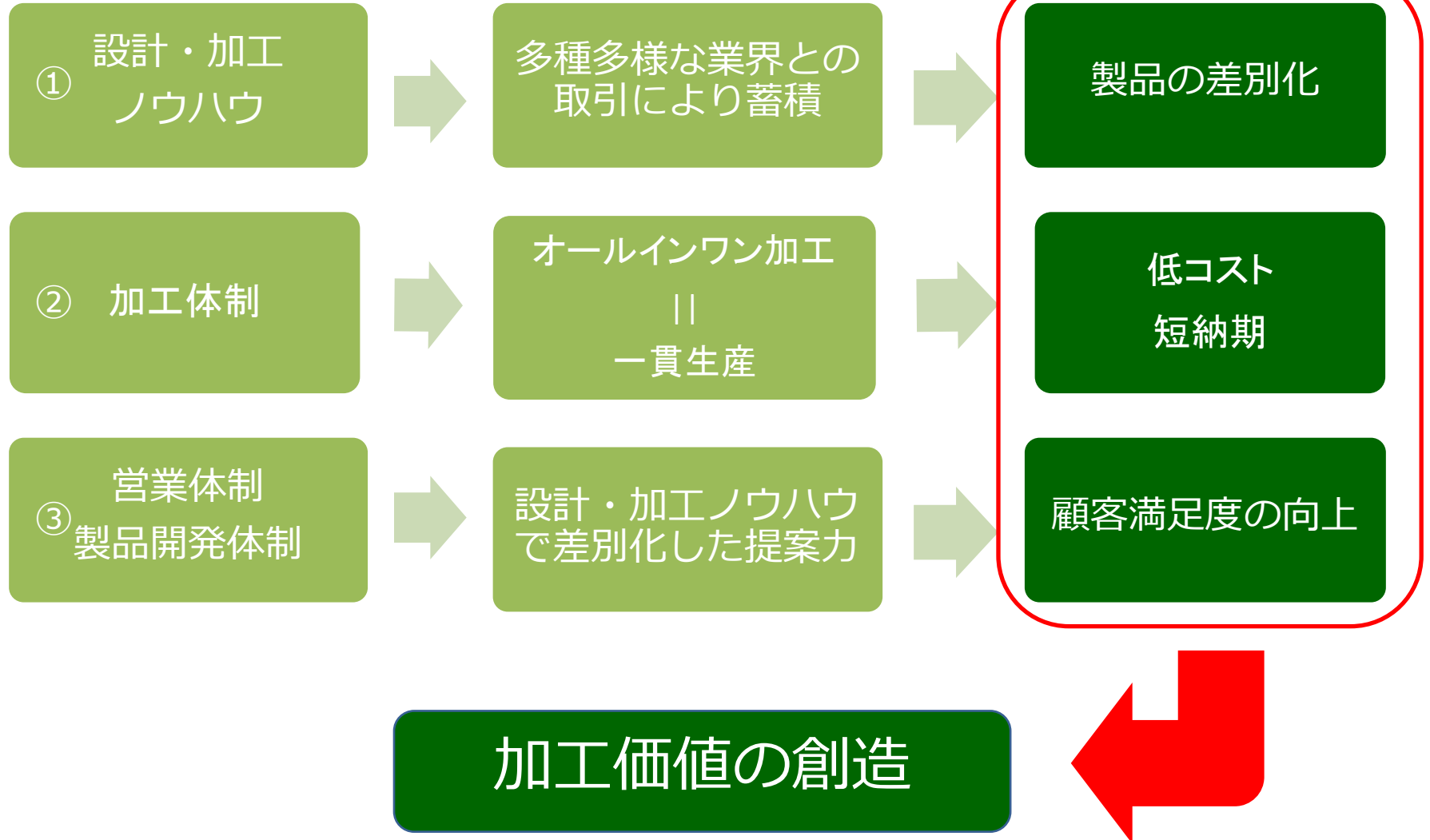
- ◆ 太陽電池アレイ支持架台成型ライン ◆ 耐火パネルライン
- ◆ シャーリングマシン ◆ タレットパンチマシン ◆ プレスブレーキマシン
- ◆ レベラーシャーマシン ◆ 各種成型機

### 最新鋭マシン（ロータリーインデックス搭載レーザー加工機）を導入

型鋼・パイプの高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置を搭載し、型鋼・パイプの兼用稼働が実現。加工領域の拡大に向けた、新しいオールラウンドマシンです。



## 強み



## 加工の横展開により設計・加工ノウハウを蓄積

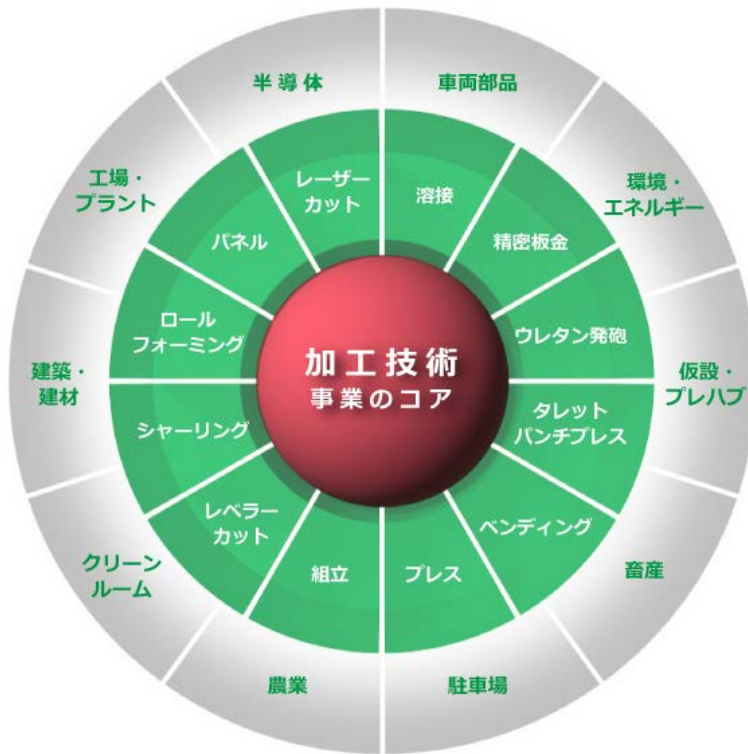
設計・加工  
ノウハウ



多種多様な  
業界との取  
引により蓄積



製品の  
差別化



あらゆる加工方法の横展開



事業のコアは「加工」

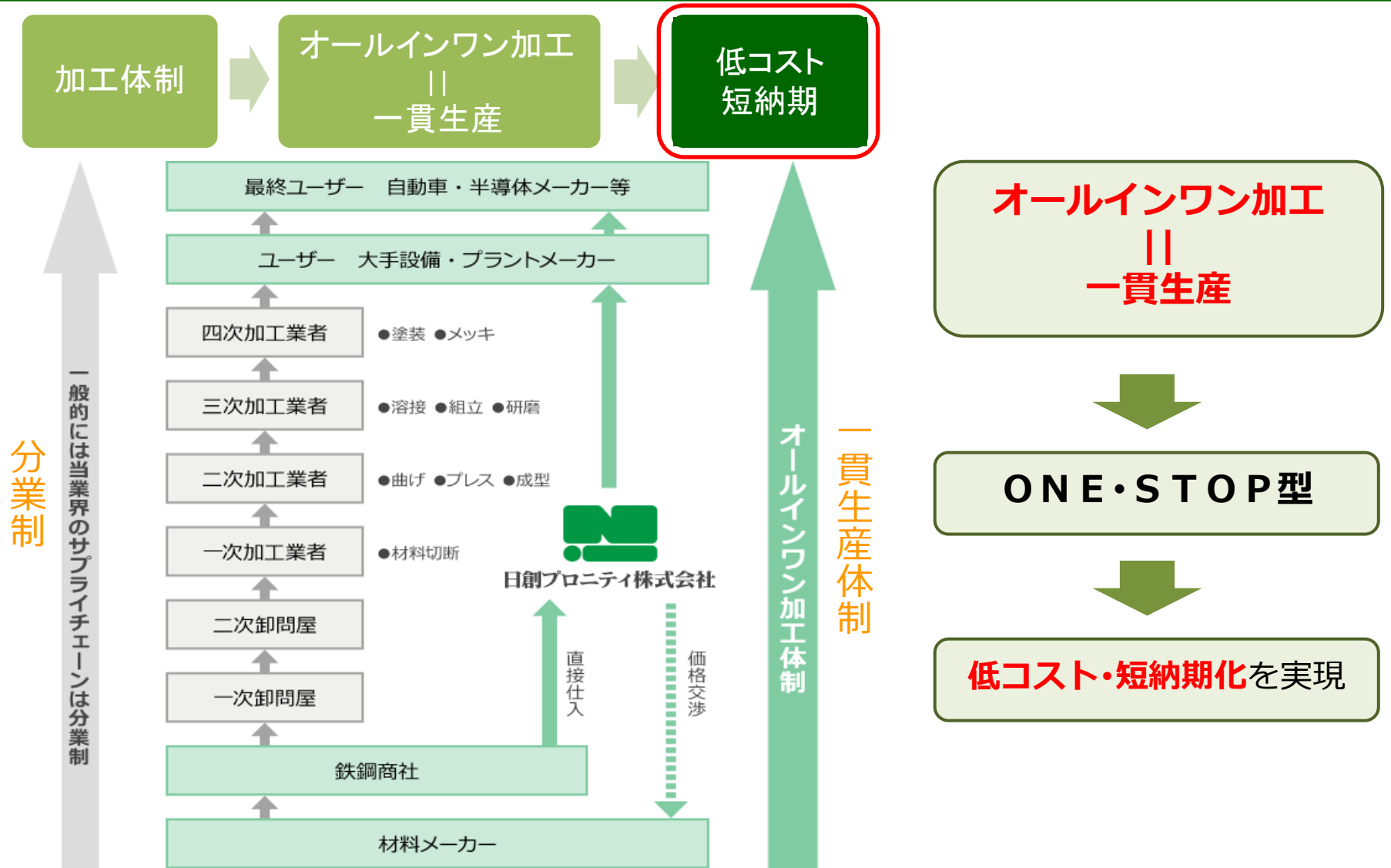


変化するニーズをいち早くとらえ、  
あらゆるご要望に的確にお応え  
できる幅広い加工技術



差別化された金属加工に関する  
“すべて”をご提供します。

## オールインワン加工（サプライチェーンの一元化）

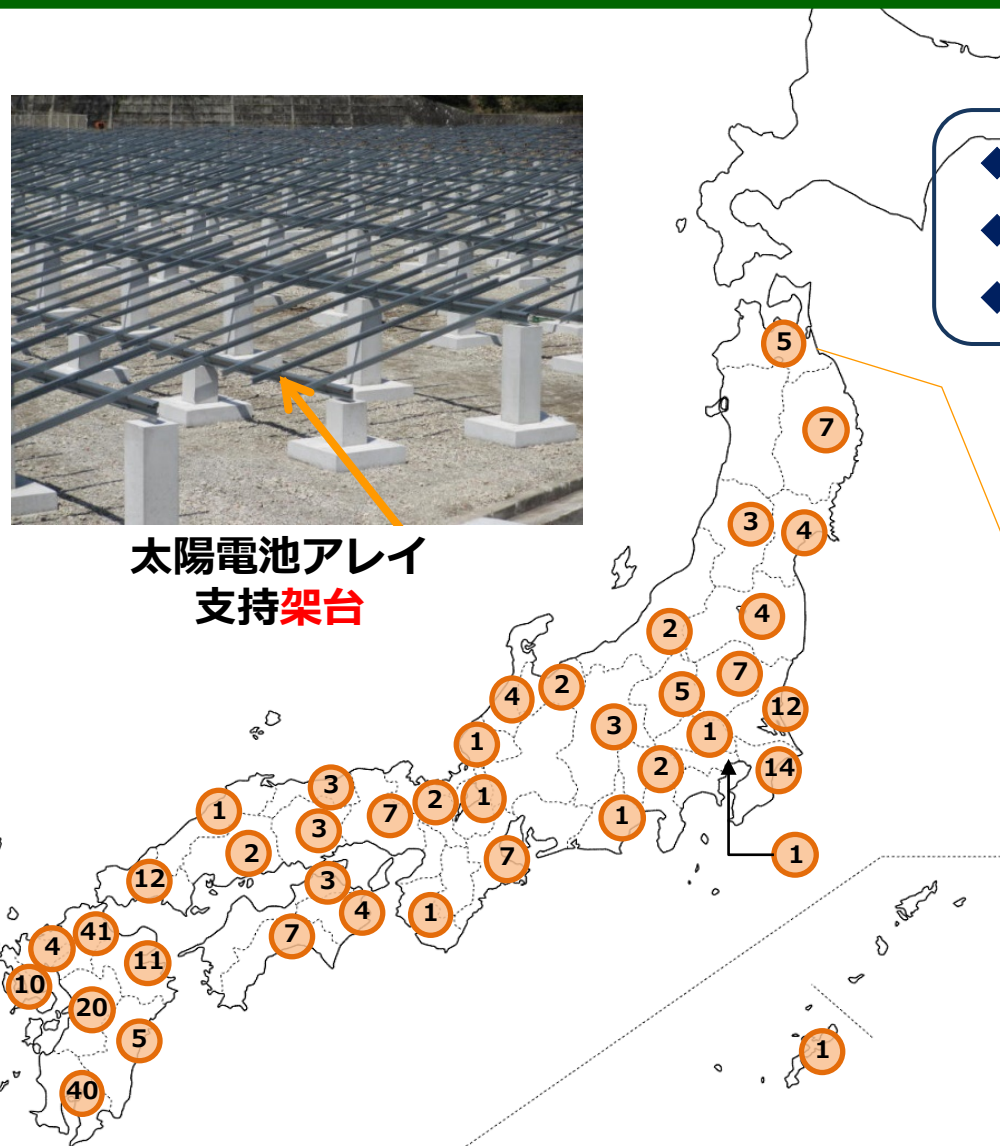




## メガソーラー用太陽電池アレイ支持架台の受注実績地図



太陽電池アレイ  
支持架台



- ◆山田工場、福島工場に大規模な生産ラインを構築
- ◆独自の製品設計により低コストでの生産が可能
- ◆一貫生産による短納期の実現



メガソーラー受注実績 (平成29年7月現在)  
**262件/966Mw**

青森県上北六ヶ所村  
設置面積は  
福岡ドーム 約**21**個分

## 太陽光発電設備の認定状況、発電開始状況

- 平成29年2月末現在  
10キロワット以上の認定設備…**77**ギガワット  
このうち、発電開始設備…**28**ギガワット (**36.4%**)

※1,000Mw = 1Gw

	メガソーラー設備 (1Mw以上)	メガソーラー以下の設 備(10kw以上1Mw未 満)	合計
認定設備	39,685Mw (9,885件)	37,887Mw (925,481件)	77,573Mw ≒ <b>77Gw</b> (935,366件)
発電開始設備	11,070Mw (5,159件)	17,198Mw (453,712件)	28,268Mw ≒ <b>28Gw</b> (458,871件)
同割合	<b>27.9%</b> (52.2%)	45.4% (49.0%)	<b>36.4%</b> (49.1%)

(出所：経済産業省資源エネルギー庁)

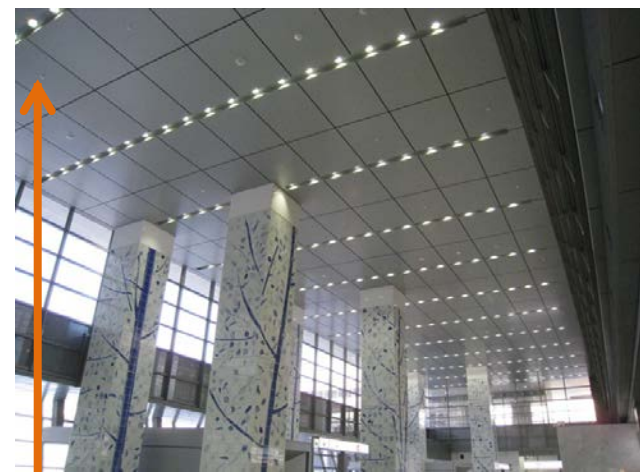
- 長期エネルギー需給見通し  
2030年での電源構成は、総発電力の22～24%を再生可能エネルギーが占める。  
(内、太陽光発電は7%)

(単位：ギガワット)

	認定	政府政策目標	稼 動	余 力
認定設備 (注1)	77	-	28	49
2030年政府政策目標 (注2)	-	55	28	<b>27</b>

(注1) 経済産業省資源エネルギー庁 (平成29年2月)

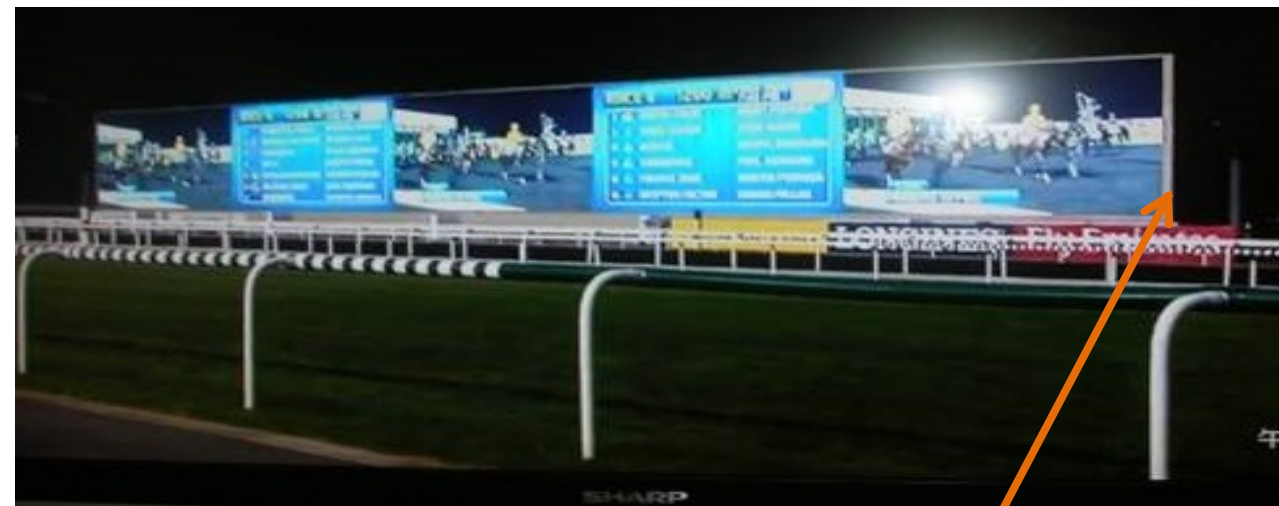
(注2) 経済産業省資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通し」(平成27年7月16日)、稼動は平成29年2月末現在



①天井パネル（内装化粧パネル：JR博多駅）



②アートパネル（某マンション）



③オーロラビジョン（筐体：ドバイ競馬場）



④デザインシェードウォール  
（ポリスミュージアム：東京銀座）

## 吾孺ゴム工業株式会社（2016年3月子会社化）

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。

ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。

本社・工場	:	群馬県藤岡市
営業拠点	:	東京営業所
代表者	:	代表取締役社長 石田 徹
設立	:	1982年7月
資本金	:	20,000千円
決算期	:	6月30日

## 自社製品

平成7年 阪神淡路大震災後に開発



製品名  
AZラバージョイント

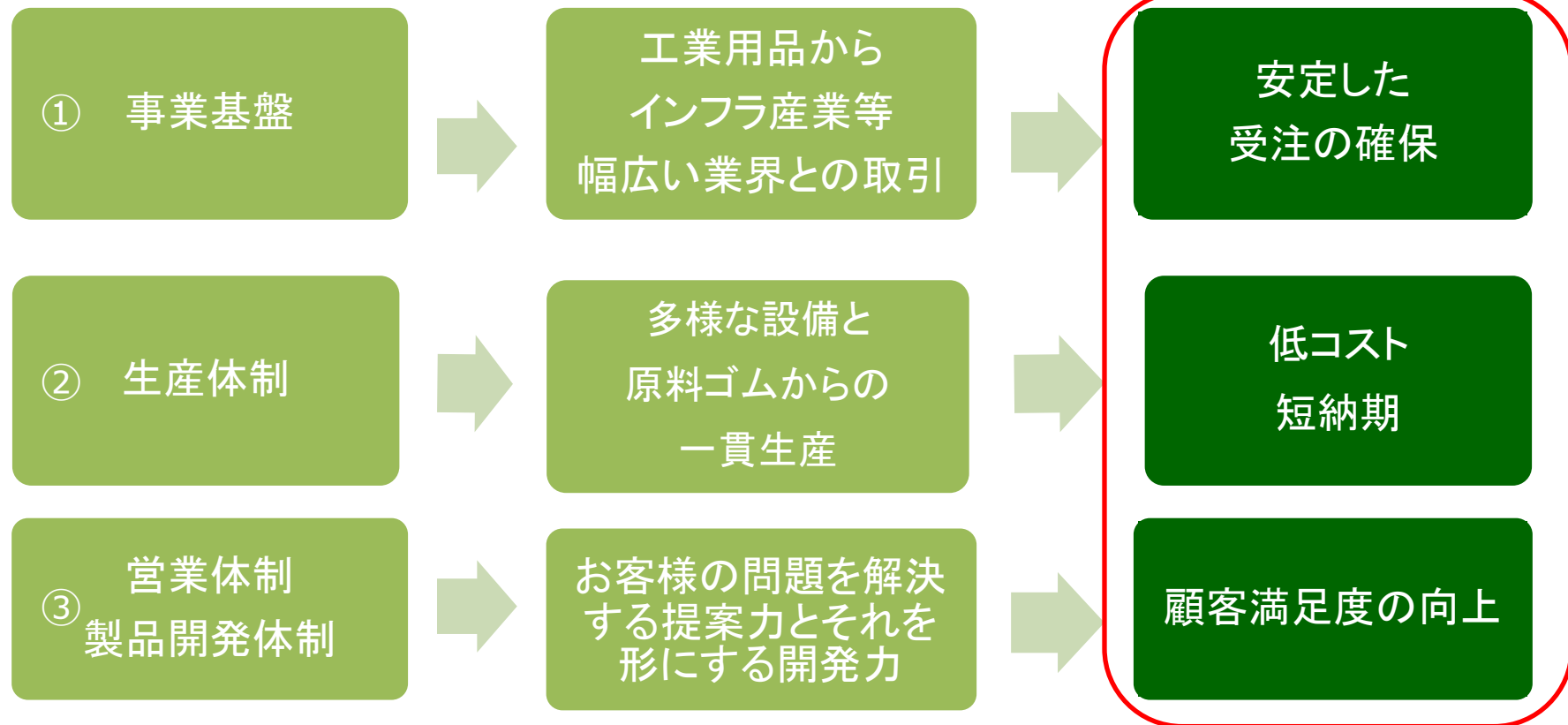


エキスパンションシール  
(駅のホーム)

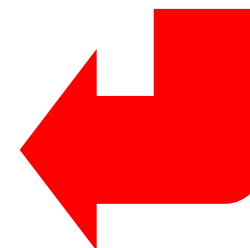


パイプ継手 エルボ  
(重機メーカー向け)

## 強み



加工価値の創造



## 日創エンジニアリング株式会社（2016年4月設立）

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「一括受注」体制を構築。



本 社 : 東京都台東区  
代 表 者 : 代表取締役社長  
大里 和生  
設 立 : 2016年4月  
資 本 金 : 20,000千円  
決 算 期 : 8月31日

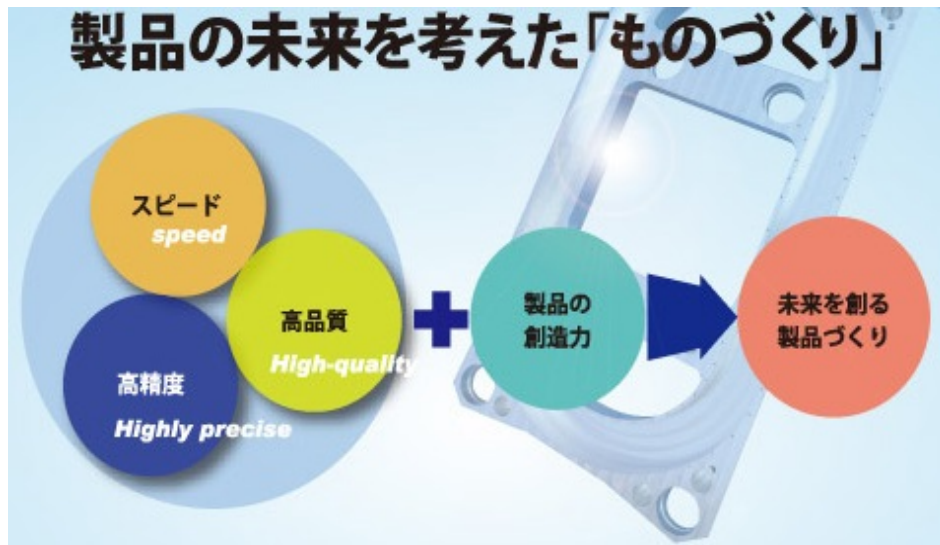
### 日創グループ材工一括受注

#### 強み

- 材工一括受注の**低コスト**提案
- 発注側の管理**効率化**

## 綾目精機株式会社（2017年4月子会社化） 金属精密切削加工業

産業用機械の部品（大型印刷機・医療機器・航空機等の部品）から農業用機械の部品まで、幅広い分野の多様な受注に対応。素材の調達、切削、焼入れ、メッキ、組立てまで一貫した加工を実現。



本 社 : 広島県府中市  
代 表 者 : 代表取締役社長  
石田 徹  
設 立 : 1988年4月  
資 本 金 : 10,000千円  
決 算 期 : 7月31日

## 製品の未来を考えた「ものづくり」

### 強み

- 安定した**優良顧客**
- 「**高品質**」・「**高精度**」の技術力

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報



# 平成29年8月期第3四半期決算概況（連結）

ゴム加工事業及び建設事業の業績寄与により、

- ・売上高 4,634百万円（前年同四半期比39.2%増）
- ・営業利益 636百万円（前年同四半期比17.9%増）
- ・経常利益 665百万円（前年同四半期比21.0%増）
- ・当期純利益 435百万円（前年同四半期比22.5%増）

（単位：百万円）

	平成28.08期 第3四半期	平成29.08期 第3四半期	前年同四半期比	
売上高	3,330	4,634	1,304	+ 39.2%
売上総利益 (売上総利益率)	1,183 (35.5%)	1,357 (29.3%)	174 -	+ 14.7% (-6.2p)
営業利益 (営業利益率)	539 (16.2%)	636 (13.7%)	96 -	+ 17.9% (-2.5p)
経常利益	550	665	115	+ 21.0%
当期純利益	355	435	79	+ 22.5%

# 平成29年8月期第3四半期決算概況（連結）

（単位：百万円）

	平成28.08期	平成29.08期 第3四半期	増減	要因
流動資産	6,717	7,124	406	現金及び預金△931百万円、受取手形及び売掛金+914百万円、仕掛品+180百万円、原材料及び貯蔵品+142百万円
固定資産	2,734	3,082	348	有形固定資産+191百万円
資産合計	9,452	10,207	754	
流動負債	1,104	1,417	312	工事未払金+198百万円、未払法人税等+116百万円
固定負債	939	1,155	216	長期借入金+120百万円
負債合計	2,044	2,573	528	
純資産合計	7,407	7,634	226	親会社株主に係る四半期包括利益439百万円、剰余金の配当213百万円
負債純資産合計	9,452	10,207	754	
自己資本比率	78.4%	74.8%	-3.6p	

# 平成29年8月期第3四半期決算概況（セグメント）

## (1) 売上高

金属加工事業の売上高は概ね横ばいながらも、ゴム加工事業及び建設事業の売上高が新たに加わったことにより（それぞれ942百万円、402百万円）、セグメント売上高の合計額は4,634百万円（前年同四半期比39.2%増）

## (2) セグメント利益

金属加工事業のセグメント利益は、販売単価の低下と材料費率の上昇により658百万円となったが、ゴム加工事業のセグメント利益179百万円及び建設事業のセグメント利益45百万円により、セグメント利益の合計額は883百万円（前年同四半期比8.1%増）

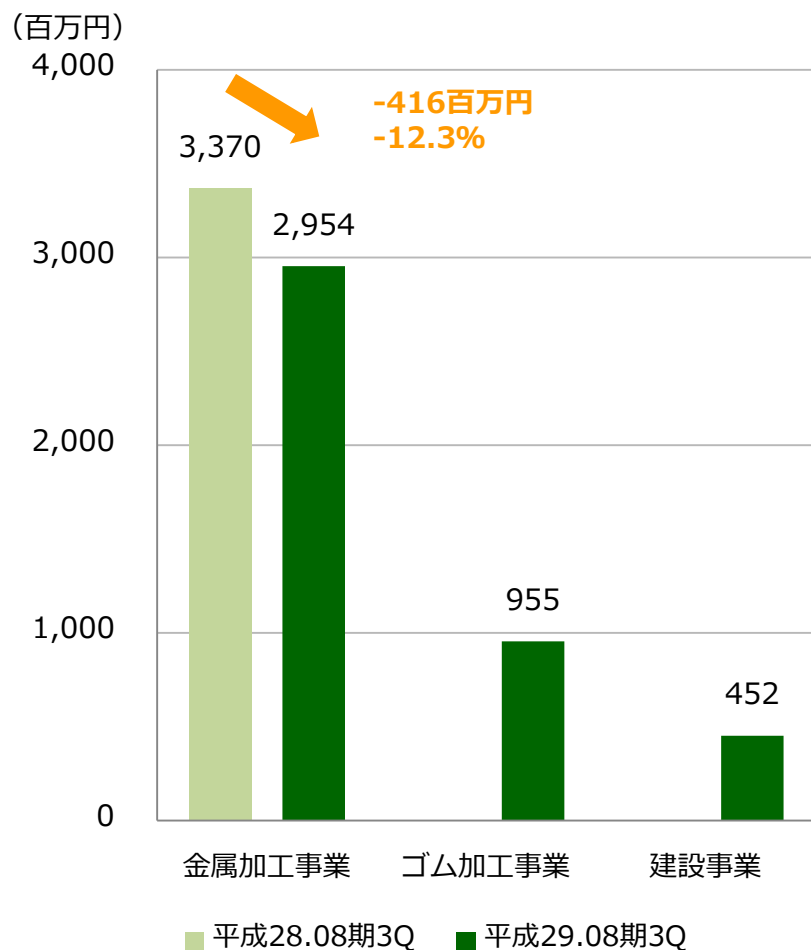
（単位：百万円）

	平成28.08期 第3四半期 累計	平成29.08期 第3四半期 累計	前年同四半期比	
売上高	3,330	4,634	1,304	+ 39.2%
金属加工事業	3,330	3,289	-40	-1.2%
ゴム加工事業	-	942	942	-
建設事業	-	402	402	-
セグメント利益	817	883	65	+ 8.1%
金属加工事業	818	658	-160	-19.5%
ゴム加工事業	-	179	179	-
建設事業	-1	45	46	-
調整額	-277	-247	30	-11.0%
営業利益	539	636	96	+ 17.9%

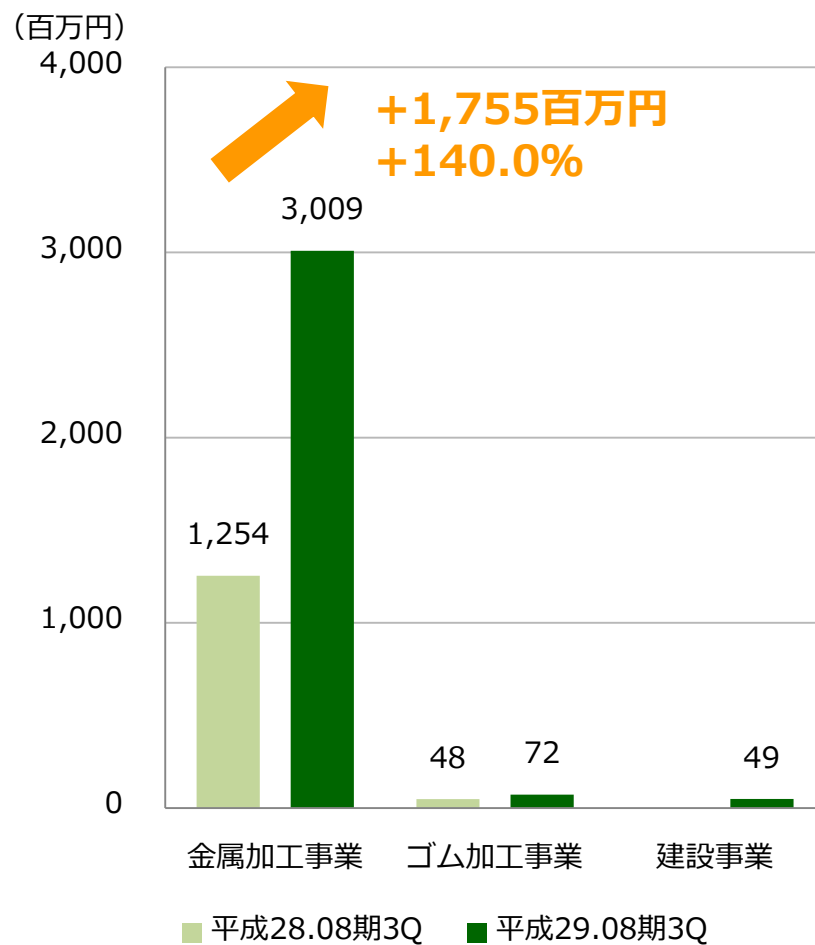
（注）調整額（セグメント利益の合計額と営業利益との差異）は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用

# 平成29年8月期第3四半期決算概況（セグメント）

## 受注高



## 受注残高



- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

# 業績見通し（連結）

- (1) 売上高は、金属加工事業、ゴム加工事業及び建設事業の増収により、売上高**6,200**百万円（前期比45.2%増）
- (2) 販売価格の低下と材料費率の上昇により売上総利益率は6.3 p 低下する見込みであるものの、増収に伴い売上総利益は**1,706**百万円（前期比18.1%増）
- (3) 以上により、営業利益は**144**百万円増加し**747**百万円（前期比24.1%増）、当期純利益は**132**百万円増加し**522**百万円（前期比34.1%増）

（単位：百万円）

	平成28.08期	平成29.08期		
		計画	前期比	
売上高	4,270	6,200	1,929	+ 45.2%
金属加工事業	4,166	4,469	302	+ 7.3%
ゴム加工事業	104	1,225	1,120	-
建設事業	-	506	506	-
売上総利益 （売上総利益率）	1,444 (33.8%)	1,706 (27.5%)	261 -	+ 18.1% (-6.3p)
営業利益 （営業利益率）	602 (14.1%)	747 (12.0%)	144 -	+ 24.1% (-2.0p)
経常利益	614	789	174	+ 28.3%
当期純利益	389	522	132	+ 34.1%

# 中期経営戦略

## 中期経営戦略

- (1) M & Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）
- (2) 3年間で上限50億円のM & A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定  
～新たなステージへの挑戦 challenge the next stage 創業40周年に向けて～

### (1) M & Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）

● M & Aの推進、アライアンスの推進により、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、事業の多角化を推進する。

※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化

※中計2年目実績：綾目精機株式会社（金属加工事業）を子会社化

### (2) 3年間で上限50億円のM & A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定

● 経営の機動性を高めるため、3年間（平成28年8月期～平成30年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を設定。これにより中期経営目標の達成を図り、新たな企業ステージのセカンドステップへつなげる。

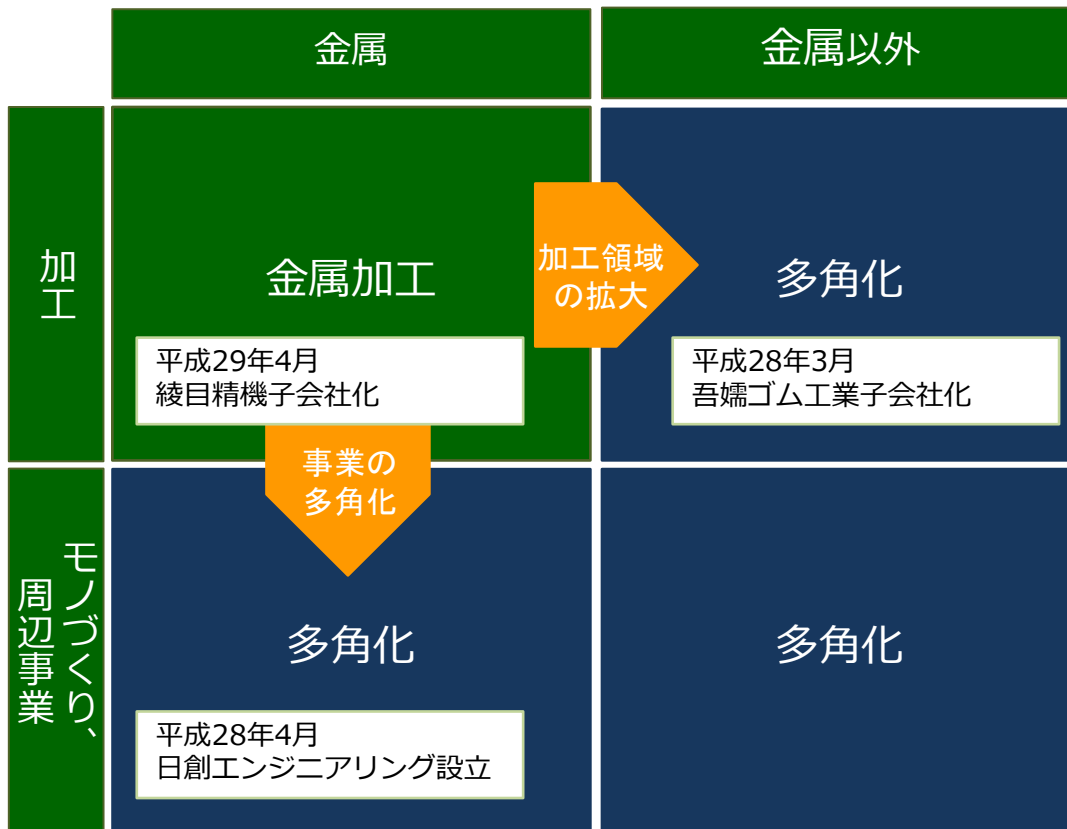
※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）

※中計2年目実績：綾目精機株式会社（投資額480百万円）

# M & Aの推進

## M & Aの推進

- (1) 金属加工だけでなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）
- (2) 協力・連携体制を醸成し、業績向上と内部統制システムの基盤固め



## 事業承継を巡る動き

- ・ 中小企業数は経営者の高齢化を背景にこの10年で約2割減少。
- ・ 60歳以上の経営者の割合は現在5割を超えるまでに上昇。その多くが今後、事業承継のタイミングを迎えると考えられる。
- ・ 後継者は、以前は親族が約9割を占めていたが、近年は親族外への承継やM&Aの割合が約4割まで増加するなど形態が多様化。



# 持続的な成長のための経営課題

## 持続的な成長のための経営課題

- (1) 新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

### (1) 新たなビジネスモデルの確立

●当社グループの最重要戦略であるM&Aを通じて、金属加工だけでなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）することにより、**事業間のシナジー**を生む新たなビジネスモデルの確立に挑戦する。

●高い技術やノウハウを有する企業とのM&Aやアライアンスによって、**差別化された製品ブランド**を提供する新たなビジネスモデルの実現に挑戦する。



「**加工**」をキーワードに、  
総合的なモノづくり企業集団への変革

# 持続的な成長のための経営課題

持続的な成長の  
ための経営課題

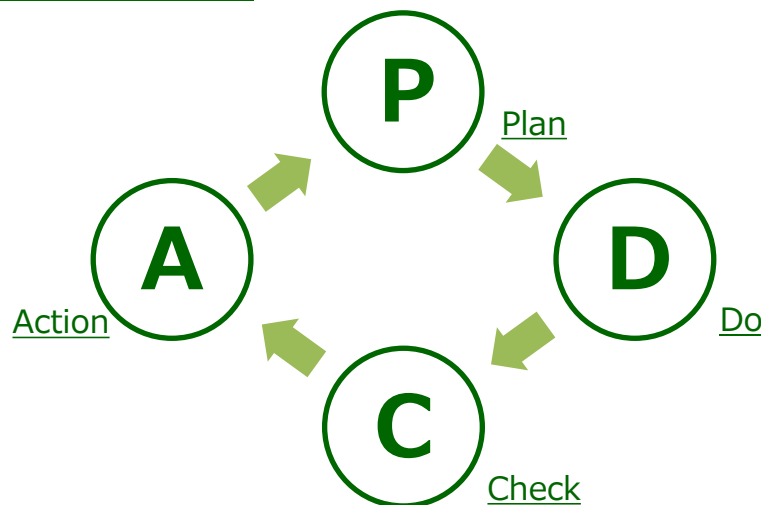
- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

## (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮

● 持続的な成長を図っていくため、各部門が旺盛なチャレンジ精神をもって課題に挑戦し、新たな企業ステージを目指す。

グループ共通

1. M & A、アライアンスの推進（中期経営戦略）
2. コスト削減の推進、定着
3. グループ企業間のコミュニケーション強化、協力・連携体制の強化



PDCAサイクルの**高速化**

↓  
持続的成長へ

# 持続的な成長のための経営課題

## 持続的な成長の ための経営課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

### (3) ステークホルダーに向き合う経営

●株主・投資家の皆様、お取引先企業、社員、地域社会等からの信頼と期待に応えていくため、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化、適時開示の適切な実行等により、透明かつ健全で効率の高い経営を遂行する。

# 中期経営目標（平成30年8月期）

中期経営目標  
（平成30年8月期）  
平成28年10月14日改定

(1) 上限50億円の戦略投資を実施

(2) 最終年度：売上高70億円、営業利益7億円（営業利益率10.0%）

	(1年目)		(2年目)	(最終年度)	(百万円・円)	
	平成27.08期 (実績)	平成28.08期 (実績)	平成29.08期 (予想)	平成30.08期 (最終年度)	平成28.08期比	
					増減	増減率
売上高	7,559	4,270	6,200	7,000	2,729	+ 63.9%
営業利益	2,239	602	747	700	97	+ 16.3%
営業利益率	29.6%	14.1%	12.0%	10.0%	-	-4.1p
当期純利益	1,407	389	522	432	42	+ 11.1%
一株当たり当期純利益	193.50	54.55	73.27	60.63	6.08	+ 11.1%

(注) 平成27.08期は単体、平成28.08期以降は連結

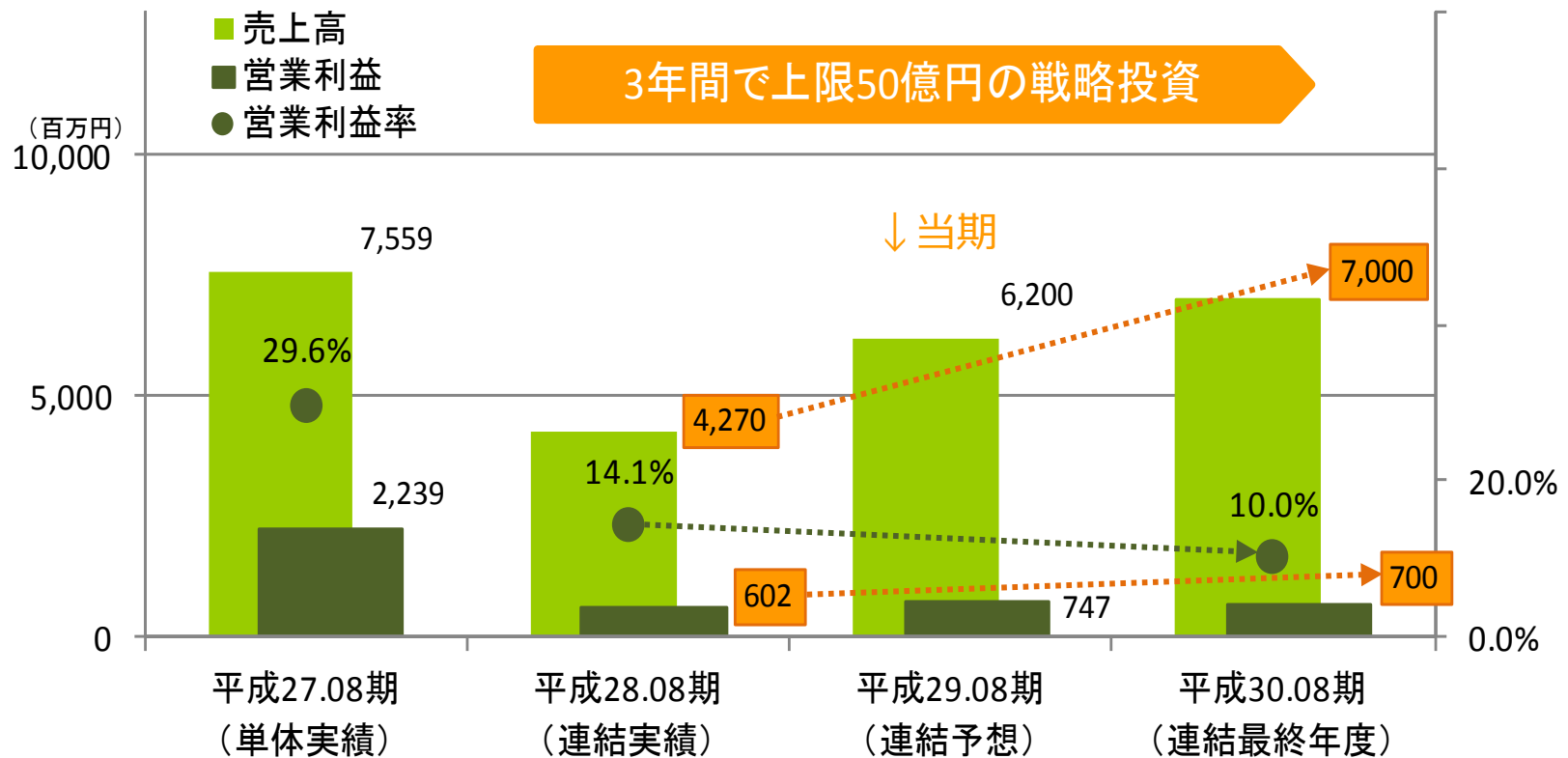
↑当期

# 中期経営目標（平成30年8月期）

中期経営目標  
(平成30年8月期)  
平成28年10月14日改定

(1) 上限50億円の戦略投資を実施

(2) 最終年度：売上高70億円、営業利益7億円（営業利益率10.0%）



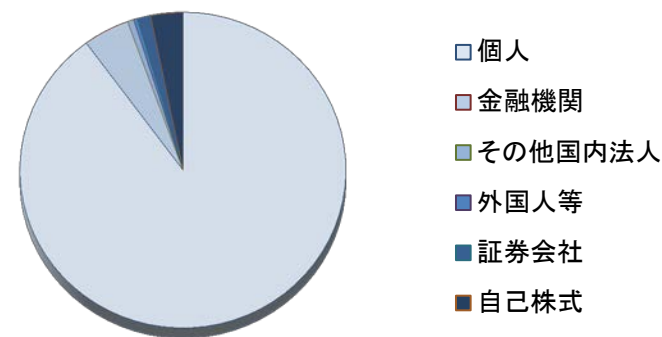
- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

## 配当に関する基本的な考え方

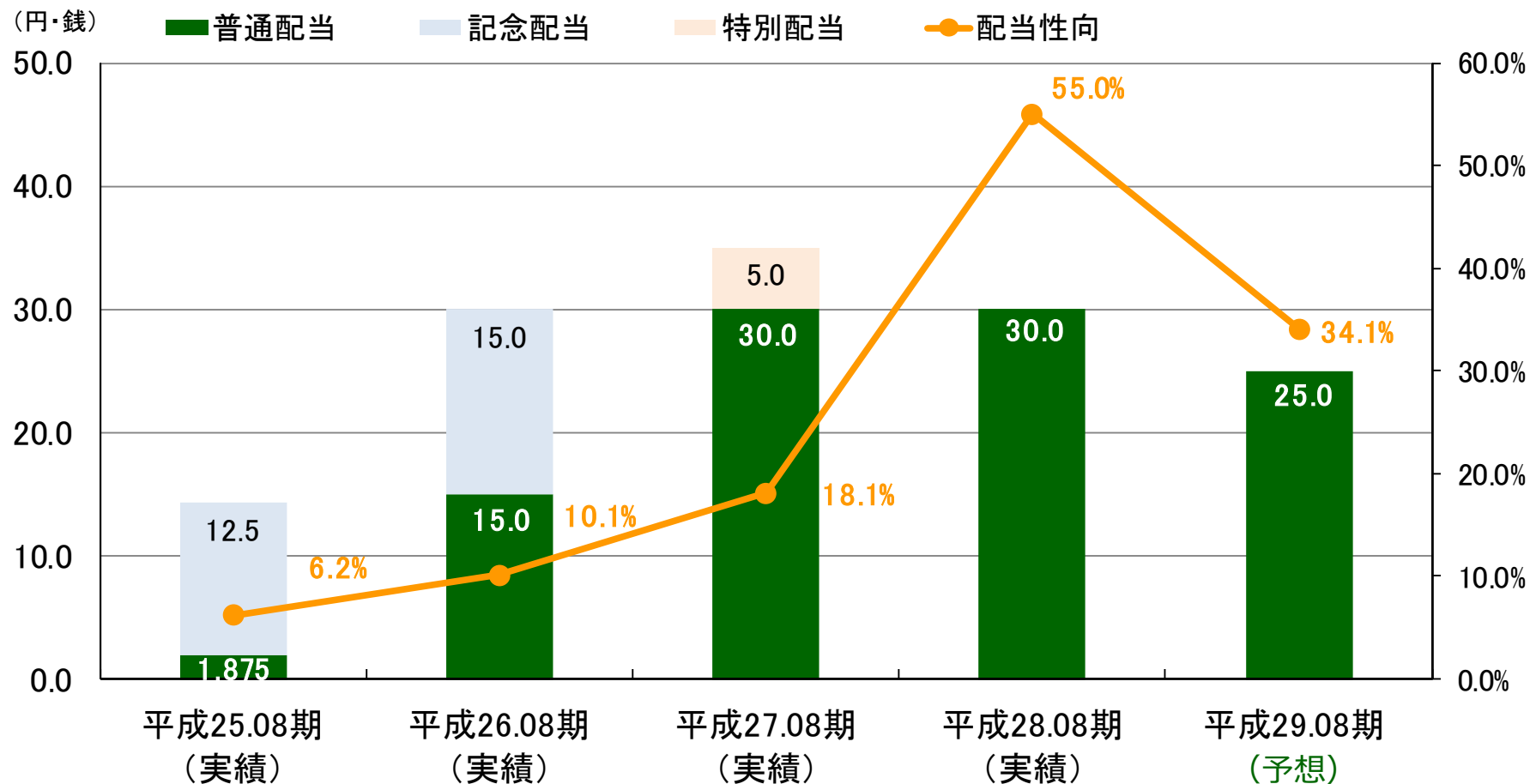
株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

## 所有者別株式分布状況 (2017年2月28日現在)

	株主数(名)	株式数(株)	株式数比率(%)
個人	2,933	6,615,400	89.88
金融機関	3	337,900	4.59
その他国内法人	29	46,000	0.63
外国人等	13	26,600	0.36
証券会社	7	98,750	1.34
自己株式	1	235,350	3.20



# 配当実績・予想



(注) 平成25.08期の配当は、平成26.08期における株式分割（4分割）を考慮して算定



IR連絡先： 経営企画室

TEL: 092-552-3749

<http://www.kakou-nisso.co.jp/>

[ir@kakou-nisso.co.jp](mailto:ir@kakou-nisso.co.jp)

#### 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。